

幼稚園版 テーマ7 いじめのない社会へ 思いやりの心を育てよう

【ねらい】

◇子ども同士のトラブルへの関わりを見つめ直し、トラブルを通して子どもが成長していったことなどを交流することで、子ども同士の交流はささいなトラブルであれば、それは我が子の思いやりを育てるチャンスでもあることを再確認するとともに、排除ではない共感の関係づくりがいじめのない社会へつながっていくことについても考えられるようにする。

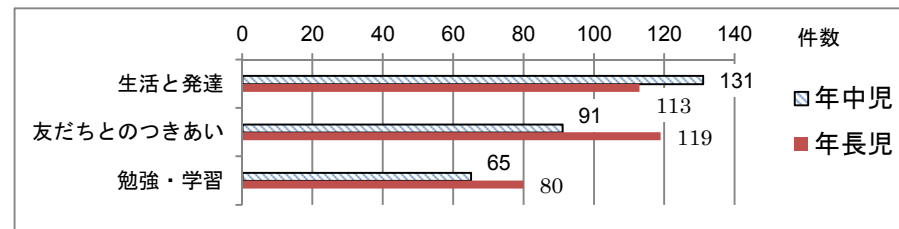
【活動の流れと支援のポイント】

1 自己紹介 および アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> ○4～5人のグループをつくり、自己紹介をする。 (10人までであれば全体で話してもよい) ○グループ編成の時には下記のような工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日順、ジャンケンで3回勝った順などで一重円になり人数ごとに区切る。 ・トランプやくじ引きを利用し班を決定する。 ○簡単な名札や席札をつくり、名前を覚えやすいようにする。 ○グループ内で進行役、記録役、発表役を各一人決める。
2 語り合いの 約束を確認 する	<ul style="list-style-type: none"> ○語り合いに入る前に、約束を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ここだけの話にする。(個人情報に関することについて) ・相手の考えを頭ごなしに否定しない。・自分だけが長く話しすぎない。 ・発言を強要しない。
3 事例に取り 組み一マに ついて知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの上段を読み、話し合いの方向性を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に対して保護者のできることを考えていくことを共通理解する。 ○事例への対応の仕方を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担しながら事例を、声を出して読みあう。 ・家に帰った後の声かけを事例の下の空欄に書く。 ・書いたことを交流し合い、多様な考えに共感し合う。
4 語り合い 活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が実際に関わった子どものトラブルを子どもの親との関わりという視点でワークシート1に書き、グループ内で伝え合う。 ・ファシリテーターがまず、ねらいこそった(親のかかわりで子どもの思いやりを育てる)事例を出し、話しやすい雰囲気づくりに努める。 ・トラブルについてであるため可能な範囲で語ってもらえるように促す。 ○話し合いから気づいたことや参考になったことを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、数人に発表してもらおう。
5 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○語り合いのまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・右ページの資料や他の保護者の意見などを例示し、トラブルの背景を理解すること、子どもの思いに共感することの大切さなどを確認する。
6 ふりかえり	○話し合った内容をふりかえり、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。

【参考資料】

◇小学校入学に向けて／小学校生活での気がかり

※複数回答



対象：年中児（4歳児）から年長児（5歳児）をもつ母親 1,074名

【第1回「幼児期から小学1年生の家庭教育調査(ベネッセ教育総合研究所2012)】

◇詩「子どもは親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
 とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる
 不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
 「かわいい子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引つ込みじあんな子になる
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 褒めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは自分が好きになる
 認めてあげれば、子どもは自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、元氣張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

【「子どもが育つ魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルト】